

広州日本人学校通信

広州日本人学校



横田 亮

10月号

Japanese School
of Guangzhou

水泳学習について

広州日本人学校では、6月中旬から9月中旬（夏季休業中は除く）までの約2か月間、体育の学習で水泳学習に取り組んでいます。水泳学習の年間時数は約20時間です。

本校には、室内に小学部低学年用の小プール、小学部中学年から中学部用の大プールがあります。亜熱帯性気候で最高気温が35度を超え日差しの強い広州でも、気候に左右されることなく水泳学習を行うことができます。週2時間コンスタントに実施できる、大変恵まれた学習環境です。プールのコンディションですが、平均すると水温が約29℃、気温約32℃です。

水泳学習は学年合同で行い、指導は担任と陸上より監視をする陸視1名を加えた合計3名以上で指導に当たります。安全には十分配慮して行っています。子どもたちは、国内より長い期間学習できることもあり、泳力が非常に高いです。各学年の目標として、小学部低学年は、伏し浮き・顔つけバタ足ができる。中学年は、クロール・平泳ぎで25m泳ぐことができる。高学年は、クロール・平泳ぎで50m泳ぐことができる。中学部は、クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライの4泳法を使いできるだけ長い距離を泳ぐことをめざす。以上のように設定しています。

釧路管内では年間2～3回ほどの水泳学習しかありませんでしたので、水泳の指導法についてはたくさん学ぶことができました。PH値や塩素濃度を毎時間調べる水質管理、陸視の教員を付ける安全管理についても貴重な体験ができました。

